

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 10 日作成)

委員会名	鉄骨造防水小委員会	主 査 名：奥石直幸
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月～2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	鉄骨造建築物は、架構フレームの剛性が小さく、屋根・外壁の構成する部材の種類や接合部が多いなど、防水性能を確保する上での難点が多い。本委員会では、鉄骨造建築物における防水工事の実態および問題点を明らかにすることを目的とする。前年度は広く鉄骨造建築物全般を対象に、屋根を中心とする防水仕様およびディテールを調査し、現状の把握と問題点の整理を行った。本年度は防水材料メーカーや関連団体へヒアリングを実施し、鉄骨造の防水設計に有用な技術資料を作成する。	
委員構成 (委員名 (所属))	板井克真 (多田建設)、市川裕一 (東急建設)、尾形眞隆 (鹿島建設)、久下高豊 (清水建設)、奥石直幸 (早稲田大学)、西田和生 (国土交通省国土技術政策総合研究所)、山宮輝夫 (大成建設)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	17,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 6 回 4 月 12 日 (6 名)、第 7 回 5 月 27 日 (5 名)、第 8 回 6 月 28 日 (5 名)、第 9 回 8 月 4 日 (6 名)、第 10 回 10 月 1 日 (6 名)、第 11 回 11 月 11 日 (4 名)、第 12 回 1 月 14 日 (4 名)、第 13 回 3 月 2 日 (5 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 陸屋根構法の分類および特徴の整理 前年度に検討したパラペット部の構法分類に従い、構法タイプごとに選定理由や性能上の特徴を整理した。また、パラペット以外の部位として、塔屋外壁とパラペットの取合い部や設備基礎廻りについて、構法の分類方法を検討した。</p> <p>(2) 工事实施例の調査 前年度に引き続き、防水工事の実施例を収集した。</p> <p>(3) 活動方針の検討 当初の方針に基づいて概略的な検討・調査を行ったところ、鉄骨造建築物では、平場や立上りの防水下地が、躯体鉄骨、鋼製軸組、乾式部材などの多種多様な部材で構成されており、構法システムの種別や性能上の特徴は多岐に及ぶことがわかった。そこで、今後の検討を効率良く行うための具体的な方針を審議した。</p> <p>(4) 工業会へのヒアリング調査 近年、急速に施工実績を伸ばしている金属下地の防水構法については、関係する工業会に資料提供を依頼し、ヒアリング調査を行った。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>鉄筋コンクリート造においては、防水工事は文字通り防水性能を確保するための工事であり、他の工種とも比較的独立している。これに対し鉄骨造では、防水性能の確保は屋根として必要な断熱や遮音、耐荷重、耐火などの性能と密接に関係しており、これらの工種との取合いも多い。このため、単に防水性や防水工事の範囲内で解決できない事情があり、作業は難航した。加えて、予想外に防水工事の実施例を収集することが困難であったが、作業は着実に前進している。</p>
その他評価すべき事項	特に無し